

夏休みに読もう中学生におすすめの本 YA通信

『自分はバカかもしれない 思ったときに読む本』

YA 37 竹内薫著 河出書房新社

手に取るのに躊躇しそうなタイトルですが、かたいアタマをやわらかくするコツがわかりやすくおもしろく書かれています。章ごとに用意されたチャレンジコーナーで頭の体操をしながら地アタマ力を鍛えましょう！勉強の合間の息抜きにいかがですか？(T)



『博物館へ行こう』 M06 木下史青著 岩波書店

(岩波ジュニア新書)

博物館へ展覧会を見に行く、と聞くと、学校の授業の一環、退屈だと思う人がいるかも。でも、この本を読むと展覧会の見方が変わります。著者は話題を呼んだ数々の展覧会を手掛けた展示デザイナー。自らの経験を通して、博物館やそれに携わる仕事の魅力を教えてくれる一冊です。

(M)



『お姫さま大全—

100人の物語—』 28才

井辻朱美監修 講談社

古今東西の物語、舞台、アニメ、神話、史実などのお姫さま100人の物語。英国の故ダイアナ妃から「魔法使いサリー」まで登場します。気になるお姫さまがいたら、詳しく調べてみませんか。(E)

『ケンタロウのごはんがうまいこの一品』

596枚 ケンタロウ著 集英社

中高生男子諸君、さあ夏休みに料理をしてみよう！難しいことはいらない、自分がページをめくって、美味しそう、と感じたものにチャレンジしてみてください。意外と簡単、思ったより奥深い料理の世界へ、ようこそ。(M)

いま、どんな気持ち？

『カゼヲキル 1~3』 F マ 1 (全3巻)

増田明美著 講談社

マラソンの解説者としておなじみの増田明美さんのマラソン小説です。ある田舎町で育った純朴でドジな中学生・美岬。才能を見いだされ、試練をくぐり抜け成長していきます。スポーツは好きだけど、活字はちょっと…という人にぜひおすすめの本です。(A)

本より
スポーツが
好きな君へ



少年をどん
底から、救っ
たものとは



『きみはなぜ生きているのか?』

YA 91.3 ナ 中島義道作 偕成社

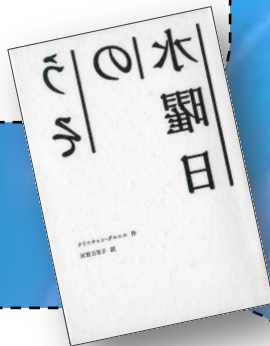
高校1年生の少年は、入学して1ヵ月もたないうちにひきこもりになってしまいます。そんな少年のもとに、ニーマンという人から手紙が届きます。手紙によってはげまされるうちに少年自身、何かが変わりはじめます。(M)

『鷹のように帆をあげて』 YA 91.3 マ

まはら三桃著 講談社

親友の遙を亡くしたショックから立ち直れない理央は、彼女のと一緒に見た鷹のヒナを育てて、大空を舞う姿を遙に届けたいと考える。中学生が鷹を飼える?と疑問に思いつつも、彼女の一心な姿と鷹の見せる野性に引きこまれます。(I)

家族って、
何だろう



『水曜日のうそ』 YA 95 グ クリスチャン・

グルニエ作 河野万里子訳 講談社

イザベルは14歳。毎週水曜日の正午におじいちゃんが家にやってきます。そのときは絶対に家にいなくてははいけません。そのために始まったうそ。近いようで遠く、遠いようで近い家族の距離を感じる一冊です。(U)

返子で
書かれた
お話



『象のダンス』 YA 91.3 リ

魚住直子著 講談社

「仕事ニンゲン」の両親に幼いころから自立を強いられ、淋しさから心を閉ざし生きる15才のミスミ。タイの少女チュアンチャイとの出会いとふたりの間におこる出来事をおして気づく温もりと、目覚める様々な感情…。少女の成長の物語です。この作品を執筆中、著者は返子に住んでいました。

お気に入りの作家 みつかるかな

『心に響く小さな5つの物語』 YA 15 7
藤尾秀昭文 片岡鶴太郎画 致知出版社
すぐに読み終わってしまう本当に小さなお話です。でも、短く簡潔に書いてあるだけに読み終わったあと、きっとあなたの心にグッとくるでしょう。夏休み、自分の人生について少し考え始めてはいかが

『はじめての文学』 YA 91.8 Ⅱ (全12冊)
浅田次郎 小川洋子他著 文藝春秋
「あなたの好きな作家はだれ？」と聞かれたら…。代表的な作家の小説を読み比べて自分の読みやすい、好きな作家を探してみませんか？好きな作家をみつけたら次のステップに進んでみましょう。(H)

気軽に読める 短いお話

『檸檬のころ』 Fト 豊島ミホ著 幻冬舎
著者があとがきで述べているように、「地味な人なりの青春」を書いたものです。舞台は東北の高校。一生懸命しているのに届かないことばかり、そんな思いをした人たちに焦点を当てた短編集です。「地味」なはずですが、心にずんずん響いてきます。(I)



SF = 科学的 空想世界

『すべるむ・さびえんすの冒険』
YA 91.3 小松左京著 福音館書店
日本のSFの界を代表する作家、小松左京の短編集。SFとは科学的な空想に基づく架空の物語です。宇宙、ある町、パラレルワールド、作品ごとにそれぞれ異なる世界があり、結末まで目が離せません。(T)

地味な 青春？



不朽の名作

『老人と海』 S 933 Ⅱ
ヘミングウェイ著 福田恆存訳 新潮社

超大作に チャレンジ！

『新装版 三国志』 SF 3 (全5巻)
吉川英治著 講談社
時代は2世紀。場所は中国。政治の腐敗、黄巾賊の出現に民衆は苦しんでいました。青年劉備は関羽、張飛と義兄弟の契りを結びます。長い物語です。でもあっという間です。夏休みに挑戦してみてください。(I)

『さがしています』 Eオ

アーサー・ビナード作

岡倉禎志写真 童心社

広島で原子爆弾が投下されたとき、被害者のかたわらに残っていて、主を亡くした品々。それらは今も、持ち主を、そして、未来をさがしています。広島平和記念資料館に収蔵の「もの」たちが語る写真絵本。(I)



『さとうきび畑』 YAE E

葉祥明絵 寺島尚彦詩

二見書房

絵本は小さな子どもの為のもの、とっていませんか？きっとだれでも、一度は聞いたことのある「ざわわ ざわわ ざわわ」のフレーズ。沖縄戦で父を奪われた少女のころを、美しい葉さんの絵とともに、若い皆さんに感じてほしい絵本です。(M)

『戦火の馬』 YA 93 E

マイケル・モーパーゴ著

佐藤見果夢訳 評論社



私は馬のジョーイ。愛するアルバートから離れて、第一次世界大戦に軍馬として連れて行かれた。戦争をくぐり抜け、アルバートに再会する夢は叶うのか？昨年映画化された原作本です。(S)

『はだしのゲンわたしの遺書』 YA 72 ナ

中沢啓治著 朝日学生新聞社

著者は、被爆体験者です。タイトルにある“遺書”の言葉通り、最後に完成したこの本を手にして、昨年12月に天国へと旅立たれました。二度と戦争という過ちを犯さないでほしい…と強く願って。(M)

戦争

環境

『君が地球を守る必要は

ありません』 YA 51 タ

武田邦彦著 河出書房新社

CO₂は悪モノなのか？温暖化は本当によくないことなのか？世の中で当然のように言われている環境の問題は本当にそうなの？読んでいるうちに頭の中が「？」でいっぱいになることでしょう。それが大切、と著者はいいます。情報にながされずに自分で考えてみること…。もっと環境問題に楽しく取りくむためのヒントになるかもしれません。(O)

この夏！ゆっくり考えてみませんか？
宿題にもおすすめです！

『楽しく作れる！役に立つ！中学生のリサイクル工作—
プラスチック容器、空き缶、割りばし、野菜くず…身近な材料
でできる楽しい工作24テーマ』 YA 75 タ 滝川洋二監修

成美堂出版

お菓子の空容器から望遠鏡、割り箸から光通信モデルハウスなど家にある材料を使った工作や 紫キャベツからPH試験紙と食品からの工作などを紹介しています。作って楽しんで仕組みも学べます。(S)